

下田中学校 生活の指針

生徒指導は、下田中学校が目標として掲げている「自ら学び、豊かな心で、たくましく生きる生徒」を達成するための重要な機能です。単に非行対策としての消極的な取組としてとらえるのではなく、すべての生徒のそれぞれの人格の健全な発達を目指すものです。生徒指導を充実させることによって、学校での生活を豊かにし、学級や学年、さらには学校全体への所属感、連帯感を醸成し、生徒たちが充実した学校生活を送ることができるようにしたいと願っています。

まず、他からの力を借りるのでなく、自分が自分を規制するところから始めることを目的として、139項目に及ぶ「生徒心得」を、平成2年9月に廃止し、もっとも基本的な行動目標として、『生活の指針10項目』を制定しました。

その後も検討を加え、現在は8項目の『生活の指針』があるだけです。細かい校則を作らなくてもよいように、生徒会を中心に自分たちの手で望ましい生活習慣を身に付けることを目指しています。

友情を大切にし、正義感をもって行動する。

時間を有効に活用し、目標をもって生活する。
(5分前行動を心がける)

公共物を大切にする。

頭髪、服装など中学生らしくする。

通学カバン、標準服、運動着、運動靴は本校指定のものを用いる。

自転車通学は許可された生徒だけとし、ヘルメットを必ず着用する。

生徒同士の外泊、旅行をしない。

法令を守る。